



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 広島電鉄株式会社 上場取引所 東
コード番号 9033 URL <https://www.hiroden.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仮井 康裕
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 小島 亮二 (TEL) 082-242-3542
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,889	△1.4	△56	—	114	—	123	476.7
2025年3月期第1四半期	8,001	17.4	△140	—	△18	—	21	△87.4

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 124百万円(△61.9%) 2025年3月期第1四半期 327百万円(△54.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	4.06	—
2025年3月期第1四半期	0.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	97,785	42,633	42.5
2025年3月期	104,082	42,762	40.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 41,559百万円 2025年3月期 41,720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,300	△0.4	△620	—	△500	—	△430	—	△14.16
通期	35,560	5.5	△610	—	△420	—	1,350	△2.1	44.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	30,445,500株	2025年3月期	30,445,500株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	68,745株	2025年3月期	68,745株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	30,376,755株	2025年3月期1Q	30,370,126株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)における我が国経済は、訪日旅行者数の増加によるインバウンド需要の拡大や、賃金上昇に伴う雇用・所得環境の改善等により内需の回復が進むとともに、企業収益も円安基調を背景に輸出関連企業を中心として好調が続いていること等により、景気は緩やかな回復基調を維持しております。一方、海外経済は、中東・東欧地域の不安定な国際情勢、中国経済の低迷、アメリカの新政権による政策、エネルギー資源や原材料価格の高騰等の影響から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、来広するインバウンド客や国内旅行客の増加や、「MOBIRY DAYS」の利便性向上の取り組み等の交通サービスの維持・向上により、運輸業、流通業における収益は増加したものの、不動産業、建設業の収益が減少したことにより、グループ全体として減収となりました。

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、前第1四半期連結累計期間と比較して1.4%、112百万円減少し、7,889百万円となりました。営業損益につきましては、前第1四半期連結累計期間の営業損失140百万円に対し、56百万円の営業損失となりました。経常損益は、前第1四半期連結累計期間の経常損失18百万円に対し、114百万円の経常利益となりました。特別損益につきましては、運輸業に係る「運行補助金」などが減少したものの、前第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益21百万円に対し、123百万円の四半期純利益となりました。

各セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(運輸業)

鉄軌道事業におきましては、2025年3月のダイヤ改正により、新しい広島駅ビル「ミナモト」開業に合わせた輸送の強化や、朝・タラッシュ時間帯の混雑緩和を図る等、利用状況に応じた運行を行いました。自動車事業では、広島空港アクセスバスをはじめとした複数路線において、利用状況に応じたダイヤ改正を実施しました。また、2025年2月に電車・バスの運賃改定を行った効果もあり、鉄軌道事業、自動車事業とも増収となりました。海上運送業及び索道業におきましては、G7広島サミット開催を契機として宮島の来島者数が増加傾向にあり、その中でも特にインバウンド客が円安に伴って大幅に増加したことにより増収となりました。航空運送代理業におきましては、国内線及び国際線とも、全路線においてほぼ計画どおり運航され増収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、前第1四半期連結累計期間と比較して10.3%、526百万円増加して5,645百万円となり、営業損益は、前第1四半期連結累計期間より122百万円改善したものの、353百万円の営業損失となりました。

(流通業)

流通業におきましては、山陽自動車道の宮島サービスエリアでは、GW期間中のレジャー客の利用増加や、梅雨が稀に見る短い期間であったため、6月の高速道路の交通量とともに来店者も増加し、増収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、前第1四半期連結累計期間と比較して2.9%、8百万円増加して292百万円となり、営業利益は、前第1四半期連結累計期間と比較して319.3%、2百万円増加し、2百万円となりました。

(不動産業)

不動産業におきましては、不動産賃貸業では、2024年12月にオープンした広島市佐伯区の「イオンタウン楽々園」の土地の賃貸収入を計上したこと等により増収となりました。不動産販売業では、2024年4月に広島市南区の分譲マンション「ザ・広島フロント」の土地持分の一部を売却したことに伴い減収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、前第1四半期連結累計期間と比較して4.9%、43百万円減少して839百万円となり、営業利益は、前第1四半期連結累計期間と比較して16.0%、47百万円減少し、248百万円となりました。

(建設業)

建設業におきましては、前年に引き続き広島駅前大橋ルート整備事業を進めており、軌道延伸工事も着実に実施しております。収益につきましては、民間の建築工事の減少等により減収となったものの、工事利益率の上昇により増

益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、前第1四半期連結累計期間と比較して11.9%、194百万円減少して1,448百万円となったものの、営業利益は、前第1四半期連結累計期間と比較して103.1%、33百万円増加し、65百万円となりました。

(レジャー・サービス業)

レジャー・サービス業におきましては、ボウリング業では、深夜帯の来場者数や土日祝におけるファミリー層の来場頻度が減少したことにより減収となりました。ゴルフ業のグリーンバーズゴルフ倶楽部では、施設や運営の改善に努めたものの来場者数は微減となりました。ゴルフ練習場の広電ゴルフでは、2025年3月に実施した打席システムのリニューアル工事により来場者数が増加したものの、旧システムのプリペイドカードの利用が多かったことにより減収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、前第1四半期連結累計期間と比較して6.7%、15百万円減少して221百万円となり、営業損益は、前第1四半期連結累計期間より1百万円改善したものの、8百万円の営業損失となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間の財政状態は、総資産は、工事負担金等の未収金回収や、広島駅南口広場の再整備受託工事の未収金を回収した影響などにより流動資産「その他」が減少した結果、前連結会計年度末と比較して6,296百万円の減少となりました。負債は、広島駅南口広場の再整備受託工事や設備投資に係る「未払金」が減少したほか、借入金・社債を含めた有利子負債が減少した影響により、前連結会計年度末と比較して6,167百万円の減少となりました。純資産は、配当金の支払いの影響などにより前連結会計年度末と比較して129百万円減少し、自己資本比率は、2.4ポイント増加の42.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間において概ね想定通り推移していることから、現時点において、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想について、前回決算発表時の予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,046	2,627
受取手形、売掛金及び契約資産	3,502	2,392
販売土地及び建物	2,733	2,863
未成工事支出金	342	92
商品及び製品	57	52
原材料及び貯蔵品	732	923
その他	5,042	1,691
貸倒引当金	△11	△6
流動資産合計	16,444	10,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,581	17,399
機械装置及び運搬具（純額）	5,269	5,098
土地	43,823	43,822
建設仮勘定	4,575	4,568
その他（純額）	2,923	2,840
有形固定資産合計	74,172	73,728
無形固定資産		
借地権	29	29
その他	1,756	1,695
無形固定資産合計	1,786	1,725
投資その他の資産		
投資有価証券	9,329	9,333
長期貸付金	28	29
繰延税金資産	345	388
退職給付に係る資産	1,253	1,228
その他	852	845
貸倒引当金	△131	△130
投資その他の資産合計	11,677	11,694
固定資産合計	87,637	87,148
資産合計	104,082	97,785

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,275	1,197
短期借入金	14,041	11,953
未払金	9,182	1,339
未払法人税等	137	79
未払消費税等	194	406
未払費用	823	930
預り金	2,010	1,786
賞与引当金	1,127	1,755
役員賞与引当金	28	25
その他	3,098	5,361
流動負債合計	31,919	24,835
固定負債		
長期借入金	12,737	13,690
繰延税金負債	1,816	1,856
再評価に係る繰延税金負債	9,970	9,970
退職給付に係る負債	834	840
その他	4,042	3,958
固定負債合計	29,400	30,316
負債合計	61,319	55,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,335	2,335
資本剰余金	2,023	2,023
利益剰余金	12,563	12,444
自己株式	△55	△55
株主資本合計	16,867	16,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,003	2,970
土地再評価差額金	21,490	21,490
退職給付に係る調整累計額	359	350
その他の包括利益累計額合計	24,852	24,811
非支配株主持分	1,041	1,073
純資産合計	42,762	42,633
負債純資産合計	104,082	97,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業収益	8,001	7,889
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	6,588	6,355
販売費及び一般管理費	1,553	1,590
営業費合計	8,142	7,945
営業損失(△)	△140	△56
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	141	185
持分法による投資利益	23	35
その他	21	25
営業外収益合計	187	246
営業外費用		
支払利息	57	73
その他	7	2
営業外費用合計	64	75
経常利益又は経常損失(△)	△18	114
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	-	19
工事負担金等受入額	49	-
運行補助金	89	60
その他	0	-
特別利益合計	140	80
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産圧縮損	45	-
減損損失	0	0
投資有価証券評価損	2	-
特別損失合計	47	0
税金等調整前四半期純利益	73	194
法人税等	35	27
四半期純利益	38	166
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	21	123

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	38	166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	315	△36
退職給付に係る調整額	△26	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	0	4
その他の包括利益合計	288	△41
四半期包括利益	327	124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	310	81
非支配株主に係る四半期包括利益	17	43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

区分	運輸業	流通業	不動産業	建設業	レジャー・サービス業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
営業収益								
外部顧客への営業収益	5,114	276	856	1,520	234	8,001	—	8,001
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	4	8	26	122	2	164	△164	—
計	5,119	284	883	1,642	236	8,166	△164	8,001
セグメント利益又は損失(△)	△476	0	295	32	△9	△157	16	△140
その他の項目								
運行補助金	89	—	—	—	—	89	—	89

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額16百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものがないため記載しておりません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

区分	運輸業	流通業	不動産業	建設業	レジャー・サービス業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
営業収益								
外部顧客への営業収益	5,639	279	812	938	218	7,889	—	7,889
セグメント間の内部営業収益又は振替高	6	13	27	509	2	557	△557	—
計	5,645	292	839	1,448	221	8,447	△557	7,889
セグメント利益又は損失(△)	△353	2	248	65	△8	△45	△11	△56
その他の項目								
運行補助金	60	—	—	—	—	60	—	60

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△11百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものがないため記載しておりません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	627百万円	756百万円